

つなげているのは世界  
支えているのは社会

4Q

2024年9月期 財務ハイライト (連結)

POINT

1

バルブ事業で複数の原発において定期検査工事が完了するなど原発関係の売上が増加したほか、主要顧客への売上が好調だった製鋼事業や原発における電気工事が増加した電気設備関連事業においても増収となり、前年同期に比べ売上高は増加しました。

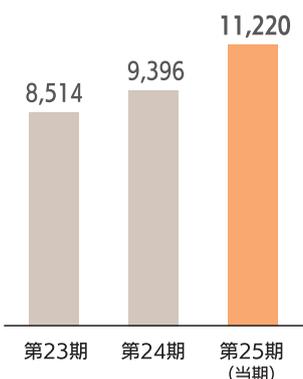
2

グループ全体で大幅な増収となったこと、バルブ事業で原発の定期検査中に発生した緊急修繕工事など採算性の高い案件の売上に占める割合が高かったことなどから、売上総利益以下の各利益は前年同期に比べ大幅に増加しました。

売上高

11,220 百万円

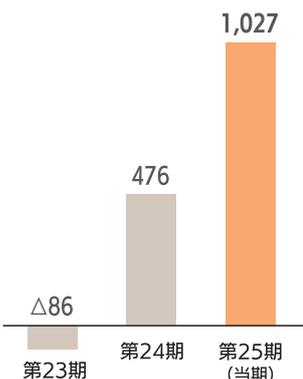
前年同期比 19.4% 増 ↗



営業利益

1,027 百万円

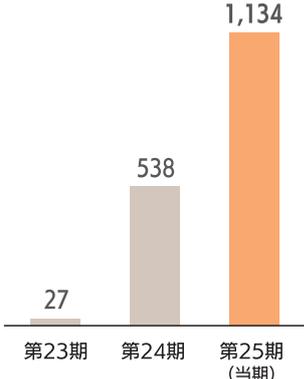
前年同期比 115.8% 増 ↗



経常利益

1,134 百万円

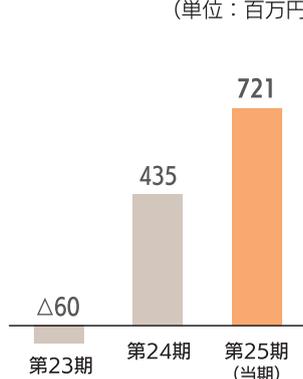
前年同期比 110.5% 増 ↗



親会社株主に帰属する当期純利益

721 百万円

前年同期比 65.8% 増 ↗



(単位：百万円)

2025年9月期の見通し

売上高

10,000 百万円

前期比 10.9% 減 ↘

営業利益

600 百万円

前期比 41.6% 減 ↘

経常利益

650 百万円

前期比 42.7% 減 ↘

親会社株主に帰属する当期純利益

400 百万円

前期比 44.6% 減 ↘

配当について

第25期の期末配当につきましては、

1株当たり40円とさせていただきます。

年間  
60円

● 詳細な財務情報は、  
当社ホームページをご覧ください  
<https://www.toavalve.co.jp/>





# 株主の皆様へ



## 「社会課題解決」「企業価値向上」の両立を目指して サステナビリティの実現と

株主の皆様には、日頃より当社グループをご支援いただき、厚く御礼申し上げます。当期(第25期・2024年9月期)の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

既にご承知のとおり当期の決算は、財務ハイライトに記載の通り増収・増益で終わることができました。当期におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、民間の設備投資や雇用環境、所得環境には改善がみられ、景気は緩やかに回復いたしました。米欧中銀の利下げなどに伴う為替等の変動、ウクライナや中東等を巡る地政学的な要因による資源価格の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いており、当社グループ業績への影響については、引き続き注視する必要があります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。当社は、全量受注生産の事業形態と主力市場の構造から独自のビジネスモデルを築いており、決算においてはそれに起因し、業績に大きな影響があることから、中長期視点に立った安定配当政策をとっているところです。株主の皆様のご理解をいただければと考えております。

さて、当社グループは、長期ビジョン2030の目指す姿「高品質弁と設備保全で、世界エネルギーインフラの安全安定運転に貢献するグローバルニッチトップ」の実現に向け、2023年度からの5か年計画「中期経営計画2023」(以下、「中計2023

といたします。)を開始いたしました。中計2023では、安定成長と持続的収益性の確保による企業価値向上を図るための基盤整備の期間と位置付けており、売上高100億円、営業利益7億円を安定的に確保できるよう既存事業の深化を図るとともに、新たな収益基盤獲得のため事業投資を行ってまいります。また、当社グループは、サステナビリティを重要な経営戦略と位置づけ、「事業活動を通じた社会課題解決への貢献」と「持続的な成長を通じた企業価値向上」を目指すため、本年10月1日に代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を設置いたしました。

サステナビリティ委員会は経営会議のもと、サステナビリティ及びESG(環境・社会・ガバナンス)に関する経営方針の策定、取組み状況の確認、評価、改善について審議し、取締役会の提言を受けて施策を推進します。また、組織横断的な各種プロジェクトの推進・モニタリングを行うことでサステナビリティ経営を実践する体制を整えており、マテリアリティをサステナビリティ委員会の施策と連携させることで、事業活動を通じ課題解決を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月  
代表取締役社長 奥井 一史

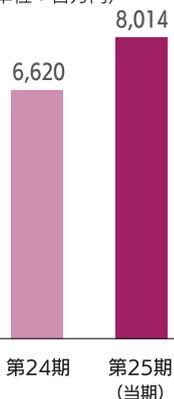
## 4Q セグメント別の概況

### バルブ事業

売上高 **8,014** 百万円

セグメント利益 **1,935** 百万円

売上高推移  
(単位：百万円)



定期検査工事や海外案件が売上計上された結果、売上高は80億14百万円(前年同期比21.1%増)となり、セグメント利益は、大幅な増収に伴う利益の増加や受注損失引当金の戻入などから、19億35百万円(同39.7%増)となり、前年同期に比し増益となりました。

### 製鋼事業

売上高 **1,218** 百万円

セグメント利益 **△177** 百万円

売上高推移  
(単位：百万円)



主要な顧客への売上が好調に推移した結果、売上高は12億18百万円(前年同期比4.9%増)となり、セグメント利益は、棚卸資産の積み上がりは少なかったものの、材料払出単価、電力料単価の減少があったことなどから、1億77百万円の赤字(前年同期は1億81百万円の赤字)となり、赤字幅は縮小いたしました。

## BCP想定訓練を実施

当社では、事業の継続を中断せざるを得ない緊急事態が発生した際に、事業の早期復旧や重要な事業の継続を図るための計画であるBCP(事業継続計画)を策定するべく分科会ごとに対策を検討してまいりました。

2024年9月2日には、伊賀工場・東京支社・若狭事業所と周辺3サイトである大飯・高浜・美浜出張所にも協力を依頼しBCP第2回想定訓練を実施しました。



訓練は2部制とし、13時からの部は南海トラフ大地震発災当日を、休憩を挟んで14時からの部は発災3日後を想定した構成としました。

当社は、電力会社を始めとするインフラを支える企業へ製品を納入・メンテナンスを行っており、当社の業務再開までの期間を最小限に抑えることで社会全体の早期復旧に寄与できると考えております。今後も、訓練や分科会での検討を通してBCPをブラッシュアップしてまいります。

## TOPICS

## 2024年度 火力原子力発電大会(中部大会)に出展

2024年10月24日(木)・25日(金)の2日に渡り、2024年度火力原子力発電大会が愛知県名古屋市を中心に開催されました。当社はメイン会場となった名古屋国際会議場にて、R&Dセンターが研究開発した、色々な手動弁に取り付けが可能なバルブ開度表示装置の展示を行いました。

展示ブースには、火力原子力発電事業関係者の方々が多数立ち寄ら

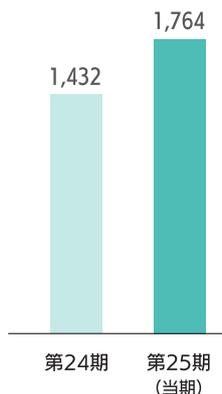
れ、出展企業からも協業に向けた打ち合わせの依頼など、当社のバルブ開度表示装置へ多くのご期待とご質問を寄せていただきました。

当社は、バルブ本体の製造にとどまらず、バルブ開度を通じてプラントの安全安定運転を支えるIoTデバイス、DXソリューションといった新たな分野へ積極的に取り組んでまいります。



## 電気設備関連事業

売上高推移  
(単位：百万円)



売上高 **1,764** 百万円

セグメント利益 **321** 百万円

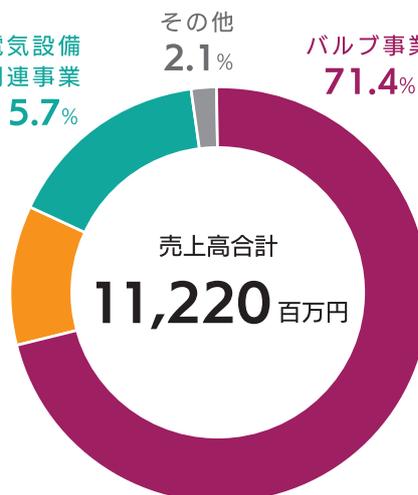
女川原発や柏崎刈羽原発における電気工事などの請負工事に係る売上が増加した結果、売上高は17億64百万円(前年同期比23.2%増)となり、セグメント利益は、増収に伴う利益の増加などから3億21百万円(同83.7%増)となり、前年同期に比し大幅な増益となりました。

電気設備  
関連事業  
15.7%

その他  
2.1%

バルブ事業  
71.4%

製鋼事業  
10.8%



## 会社の概況

(2024年9月30日現在)

商号	株式会社TVE
英文	TVE Co., Ltd.
証券コード	6466
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
設立日	2000年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務
従業員	295名（連結395名）

## 株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第25回定時株主総会の決議結果につきましては、当社ウェブサイト (<https://www.toavalve.co.jp>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承下さいませようお願い申し上げます。

## 株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 受領株主確定日	9月30日
中間配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.toavalve.co.jp/">https://www.toavalve.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

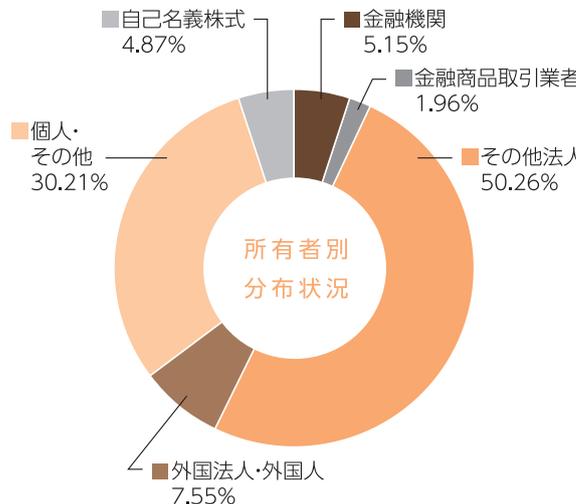
## 株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	10,040,000株
発行済株式の総数	2,461,600株
株主数	1,594名
大株主	

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西華産業株式会社	505,400	21.58
株式会社UH Partners 2	183,700	7.84
株式会社UH Partners 3	177,700	7.59
光通信株式会社	171,400	7.32
株式会社エスアイエル	104,700	4.47
TOA取引先持株会	97,200	4.15
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	79,000	3.37
INTERACTIVE BROKERS LLC	34,642	1.48
TVEグループ従業員持株会	31,642	1.35
DAIWA CM SINGAPORE LTD(TRUST A/C)	30,000	1.28

\*当社は自己株式119,795株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。



## 役員

(2024年12月24日現在)

### 監査等委員以外の取締役

代表取締役	奥井 一史
取締役会長	笹野 幸明
取締役	飯田 明彦
取締役	三宅 利幸
取締役	川上 浩
取締役	榎村 英孝
取締役(社外)	原田 英美子

### 監査等委員である取締役

取締役	田中 博之
取締役(社外)	浜本 光浩
取締役(社外)	宮本 文子